

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190200214		
法人名	社会福祉法人 唐津福祉会		
事業所名	潮荘グループホーム		
所在地	佐賀県唐津市鎮西町打上3075番地1		
自己評価作成日	平成23年11月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年12月15日	外部評価確定日	平成24年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>同一敷地内に母体施設の特養があり、緊急時等速やかな応援体制が整えられている。また、介護の状況により、共同生活介護にて対応が出来なくなった場合等、短期入所等に繋げるシステムが構築され、地域の中で安心して生活できるように整備している。職員の基礎的研修や認知症の勉強会、介護技術等についても母体施設の研修を基本に、マニュアル化され、常に質の高い介護が提供出来るように、努力している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>小高い丘の上に潮荘があり、静かな環境の中周りには母体施設があり利用者の状態変化時もすぐに対処でき、家族・利用者の方ともに安心出来るシステム作りがなされている。また、利用者の方に質の高い介護が提供できるように施設内での勉強会・研修会など職員の教育にも積極的に取り組みがなされている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関と居間に理念を掲示しており、毎朝の申し送り時に復唱し、職員が実践に取り組んでいる。	潮荘開設時職員が一体となって・感謝・やさしさ・安心の理念を作り、利用者の方に日常の介護の中で常に、忘れることなく実践できるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接している、ちんぜい荘や特養入居者の面会があり自然に交流ができています。	潮荘の周りに母体となる施設があり、面会に行ったり面会に来られたり、また、施設に面会に来られた方が潮荘に面会に来ていただき、交流が出来ている。	今後は、ホームは地域の一員であることを認識し、地域の行事や自治会に積極的に参加したり、回覧板を回してもらったり、また、ホームの行事にも地域住民を招くなど日常的な地域との関係が築けることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月毎の運営推進会議にて、委員メンバーへ実践状況等を報告し、認知症に対する理解を求めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員メンバーである民生委員・区長・家族代表の方々に、ホームでの事例報告等を行ない、また、月に1回の勉強会でもテーマを決めて職員の意識向上につなげている。	地域の民生委員・区長・家族の代表者・市の担当者・施設の代表者等の参加があり、二か月に一回の会議毎にテーマを決め、季節ごとの行事の取り組み方や、内容報告、意見など幅広く聴き、サービスの向上に努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の場を活用して、市担当者との情報交換を行なっている。 また、月に1回は市委託の相談員に来てもらい相談したり、意見を頂いている。	市の担当者とは、運営推進会議で情報交換などを行い、また月一回相談員の方の訪問もあるなど協力関係が築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行なっておらず、自由に入出りが出来るようになっている。	玄関の施錠は行われておらず、自由に入出りが出来る。外出の傾向があれば見守りながら安全に配慮し、支援を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	集団指導や研修等に参加し、申し送りや勉強会にて、職員の意識を確認し防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や主任は、居宅支援センターや成年後見、公正証書等の実務経験者であり、その他集団指導や研修に参加を行い、職員も勉強会の年間計画に基づいて職員全員に理解してもらう。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書等の説明時疑問点などないか確認しながら理解・納得をしてもらうようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を設置。 家族面会時に、利用状況等を説明し、家族の意見も確認している。また、必要に応じて勉強会で対応を検討する。	玄関先に意見箱が設置されている。面会時には、要望意見など書いていただけるよう各個人のノートも一冊ずつ準備されている。利用者の現状報告等行う際に出来るだけ意見の交換ができるよう心掛けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の勉強会で職員同士の意見交換をし、改善点等を話し合い日々の運営に反映させている。	職員は日常業務や勉強会の場を利用し、意見や提案を行っている。最近では利用者に対しての介護の仕方の問題点などを話し合い、支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の規程により、給与等が定められており、職員登用試験等公平な取り扱いのもと各自が向上心を持ち生き生きと働ける職場造りを推進している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受けることができるように調整している。また、自己評価が義務付けられており、本人の力量や受講したい研修などについては、管理者が把握し、受講するなど職員としての資質向上に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津市のグループホーム連絡協議会の勉強会に参加し、情報交換等も行ない、サービス向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人やご家族の意向を聞いてから、ケアプランの作成をし説明を行なっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意向を聞き、ケアプランを作成し説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に本人・ご家族等の意向を聞き、ケアプランを作成し説明している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者に対し、人生の先輩であるという尊敬の気持ちを持ち、入居者のこれまでの生活の知恵を活用して畑の作物作り等を得たりして、共に支え合う関係作りに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族等に気軽に面会に来て頂ける様に対応し、意向を確認して一緒に本人を支えているように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気兼ねなく面会に来てもらえる様に家庭的な雰囲気作りに努めている。また、面会者に一緒におやつを食べていただいたり、和やかな雰囲気作りに努めている。	母体施設に入所されている馴染みの方の面会に出かけたり、週に一回パン屋さんや移動販売の訪問もあり、楽しみにされている。入所以前より利用されている美容室に出掛けるなどの支援も行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間のトラブルを防ぐ事が出来るように、目配り気配りを行ない、日頃から入居者の方々の関係把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等へ転院されてからもお見舞いをして、家族へも連絡をとり経過確認をおこなっている。その中で家族の要望や関係者からの聞き取りを元に、次のサービス等につなげている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族等からの情報や日々の生活の中で入居者の生活パターンや性格等を把握している。	職員全員が日々の関わりや会話、表情などから本人の思いや意向を、把握できるよう努めている。また、意思疎通が困難な方には、家族から情報を得るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・CM等関係者からの生活状況を聞き取り、把握することでサービスに反映される様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等で入居者一人ひとりの生活状況の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	勉強会時の職員の情報交換や入居者、家族の意見を取り入れ計画書を作成。毎月、ケアプラン実行状況を評価している。	本人・家族の希望や意向を確認し、また、勉強会では職員間の情報交換を行い、本人本位の介護計画を作成している。また状態の変化、家族・本人の新たな要望等がある場合は、その都度計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきノートを作成。入居者の言動での小さな気づきを、職員全員で行ない、勉強会で情報交換し介護計画に反映できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	特養を母体施設として、状況に有ったサービスの提供ができるように、心がけている。重度化等により他のサービスが必要な場合は、居宅支援や短期入所など事前に説明し理解してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	管理者や主任は、居宅や成年後見、公正証書等の実務経験者であり、地域において本人の希望に合う支援に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者・家族の希望を尊重して入居前からのかかりつけ医を継続している。 また、24時間体制の協力医療体制も整えている。	家族の方の協力を得て、入所前からのかかりつけ医の継続はできている。また月に1回の歯科の往診もあり、母体施設との24時間協力体制も整っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	基本的介護や看護マニュアルを整備し、早急な受診、必要な場合は特養看護師と連携し、主治医への連絡受診が行えるように体制を整備している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会を行なう等して、医師・NSと連携し情報交換を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	特養を母体施設として、状況に合ったサービスの提供ができるように、心がけている。重度化等により他のサービスが必要な場合は、居宅支援や短期入所など事前に説明し理解してもらっている。	利用開始時に重度化や終末期に向けての説明を行っており、状態の変化があった時は、母体施設の特養で状態に応じたサービスの提供ができるよう取り組みがなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時対応マニュアルを作成し、勉強会にて確認している。 また、研修にも参加し対応等を学んでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者を定め、消防計画書を消防署に提出している。消防計画書をもとに、年2回以上の消防訓練、及び防災訓練を実施している。 玄関にも避難経路を掲示している。	年2回の消防訓練を行っている。夜間帯を想定した訓練もなされており、避難場所の確認母体施設との協力関係も出来ている。全職員消火器の使用も出来、スプリンクラーも設置されている。	今後は、職員だけの誘導の限界を踏まえて、地域住民の参加協力のもと避難訓練が行われることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員から守秘義務に関する同意書を取っている。また、日々の生活の中でも人格を尊重する様な対応を意識している。	援助が必要な時はさりげない言葉かけや支援を行っている。また、リビングに飾られている写真など家族の方に許可を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を尊重し、できる限り自己決定できる様に対応するように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の状態に応じて、起床時間や食事の開始時間等を調整して、一人ひとりに合わせた支援ができる様努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみに対しては、訪問理容を利用したり、おしゃれができる様に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で取れた野菜をみんなで下準備して食事に出している。配膳やお膳拭き等できる事と一緒にこなしている。食事中は誤嚥等の事故がない様に入居者の近くで見守り等行なっている。	食事は毎食母体施設で調理したものが運ばれてきており、ホームで盛り付けなどを行っている。季節ごとの行事・誕生会の時など行事食も作られている。また施設前の畑で採れた野菜などを使用し、みんなで下準備するなど、食事が楽しみなものとなるように工夫されている。	今後は、職員も利用者と同じテーブルで同じものを一緒に食事されることを期待したい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の摂取量の把握と水分の摂取量の把握を行なっている。 管理栄養者が献立を立て、本人の状態に合わせて食材を細かくしたり支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行ない、入居者にできる範囲でしてもらう様に支援している。 週1回はポリドントにて消毒実施。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの様子をみながら声掛け等行ない、排泄パターンを把握し、排泄の援助を行っている。	入所時より排泄パターン、行動パターンの把握に努め、日中・夜間ともにトイレでの排泄誘導を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事等メニューは管理栄養士が作成し、個々にあった食事バランスにより管理している。通常の生活野中でも水分摂取の声かけを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は月曜から土曜までの午後と決めているが、その時の状況や希望によっては曜日や時間の変更をして対応している。	入浴日の指定もなく、毎日入浴を楽しむことができる。入浴を好まれない場合は、時間をずらして言葉かけを行ったり、清拭で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの様子をみながら、休憩の声掛けを行なっている。また、日中はできるだけ体を動かし、安眠の援助を行なっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ファイルに薬の説明書をとじて、入居者一人ひとりの情報を把握できるように職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農業経験者には畑作りや草むしりをしてもらったり、歌や縫い物が好きな方等にはそれぞれの個性をいかして生活できるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望や様子をみながら、ホーム周辺の散歩をしている。 本人や家族の希望に応じて自宅へ帰ったりされている。	入所者の希望に応じて散歩や家族の方の協力を得ての外出・外泊の支援も出来ている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かり、お金は事務所で保管。移動パン屋さんや外出時のお買い物の時には、本人にお金のやり取りをしてもらう様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に沿って電話等を利用し、家族・友人達に連絡ができる様に支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中はほとんどの入居者が居間で話したりテレビを見て過ごされるため、椅子やソファの配置に気を配っている。 季節感を感じられる花を飾ったり、ホームの庭には野菜や花を育てているのでいつでも見ることができる。	玄関には季節感のある手作りのタペストリーが飾られており、居間兼食堂には大きなソファがあるなどゆったりと過ごせる工夫がされている。窓からはホームの庭が見え、花や野菜が植えられていて、季節感にあふれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間には、テレビやソファを置いて自由に過ごす事ができる様にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前から使い慣れたり、見慣れた品物を持参して頂き、本人が安心して生活する事ができる様に支援しています。	入所時の持ち込み制限はなく、本人の使い慣れた物、家族の方の写真なども飾られている。ベッドは利用者の機能に応じたものが配置されている。居室の窓も広く明るく清潔で、居心地の良い居室づくりの支援がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、完全バリアフリーとなっている。廊下・トイレ・風呂には手すり等を設置し、安全に生活できる様にしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない